◇　◇　第二種研究会発表募集案内　◇　◇

●第23回ネットワークソフトウェア研究会

委員長　伊藤　篤（中大）
研究会の内容
　ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり，ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや，ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち，ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について議論をします．本研究会では，企業・大学における研究・教育上の課題のみならず，製品開発や保守運用上の課題など，研究から実用化までを通した幅広い課題を対象として解決法を探ります．
期日　2020年10月22日（木），23日（金）
会場　博多バスターミナル9Fホール（IN研究会，ICTSSL研，IEEJ-SMF研との併催）
募集案内：http://www.ieice.org/cs/ns/nws/23/announce/
テーマ：テレワーク時代のネットワークソフトウェア技術＋一般
概要
　新型コロナウイルス（COVID-19）の流行により多くの企業でテレワークの普及が進んでいます．テレワークが普及するに伴い，セキュリティや接続端末数の増加による音声・映像の遅延など，解決すべき課題が多く見られています．また，現在はWeb会議が主なアプリケーション・サービスとして利用されていますが，今後，多くの業務をリモートにて実行するためのアプリケーション・サービスが発展していくと考えられます．本研究会では，テレワークの普及に向けて課題となるネットワークに求められるセキュリティ技術，ソフトウェア技術の発展を見据え，多種多様なアプリケーション・サービスを処理するためのネットワークソフトウェア技術について，幅広く課題や研究アプローチに関する発表を募り，議論を行います．
【本研究会の特徴】
　参加者の産学のバランスがよく，更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので，発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます．また，他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので，発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます．これにより，検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起などについても発表・議論して頂けます．
　また，本研究会では，議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています．有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります．是非活発な議論をお願い致します．
【発表形式】　下記2種類の発表形式からお選び下さい．
・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け
　1件あたり標準で50分．発表者からのプレゼンテーションは20〜25分以内とし，残りの時間を質疑応答に割り当てることで，深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります．
・ポジションペーパ：構想段階等にて意見を収集したい方向け
　1件あたり標準で20分．発表者からのプレゼンテーションは5〜10分以内とし，残りの時間を質疑応答に割り当てます．一般講演するほどの内容ではないが，是非意見交換をしたい内容などについて，発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます．
【各種締切】
　一般講演申込み：10月2日（金）
　ポジションペーパ講演申込み：10月2日（金）
　研究会参加申込み：10月2日（金）
　原稿提出：10月9日（金）
　参加費振り込み：10月14日（水）
【参加費（予定）】
　一般：7,000円，学生：3,000円
【講演・参加申込方法・原稿提出方法】　下記Webページを参照下さい．
　http://www.ieice.org/cs/ns/nws/23/announce/
【講演・参加申込先・原稿提出先】
　風戸雄太（NTT）
　〒180-8585　武蔵野市緑町3-9-11
　TEL〔0422〕59-6754

E-mail：ns-nws-secretariat@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合先】

吉村康彦（NTT）
TEL〔0422〕59-3449

主催　ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会運営委員会
◎http://www.ieice.org/~nws/